

◇ 標準塗装仕様書 ◇

ボンフロン株式会社

◇工法名	GT-E115/ボンフロンWR-100SR工法(既存ルミフロン系塗膜)		
◇適用素地	既存塗膜 ルミフロン系フッ素樹脂塗料(無機系素地) 既存塗膜が活膜の場合		
◇使用材料	下塗	ボンHBサーフェーサーR(W)	16.0 kg / 缶
	中塗	ボンフロン水性GT(艶消)	15.0 kg / 缶
	上塗	ボンフロン水性GT-SR	15.0 kg / 缶

工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	施工方法
素地調整	高圧洗浄機を用いて、旧塗膜に付着している塵埃・汚れ等を水洗いしながら除去する。 サンドペーパー(#200以上)で目荒しを行う。					
1	下塗	ボンHBサーフェーサーR(W)	清水 0 ~ 3	0.30 ~ 0.50 0.80 ~ 1.20	1	16h以上 7日以内 ウールローラー 砂骨ローラー
2	中塗	ボンフロン水性GT(艶消)	清水 0 ~ 5	0.12 ~ 0.15 0.15 ~ 0.20	1	4h以上 刷毛・ローラー エアレス
3	上塗	ボンフロン水性GT-SR	清水 0 ~ 5	0.09 ~ 0.11 0.11 ~ 0.15	1	— 刷毛・ローラー エアレス
合 計				3		

注1) 標準所要量については、『塗装材料(希釈する前)の理論塗付量(kg/m²) × 100 / 塗着効率(%)』で算出しております。
所要量は被塗物の形状や希釈等の塗装条件などによって増減することがありますのでご注意ください。
各種施工方法の塗着効率を下記に示します。

施工方法	塗着効率(%)
刷毛・ローラー	80~100
エアレス	60~80
各種吹付けガン	50~70

エアレス圧力(参考)5~10Mpa・50~100kg/cm²

注2) 前処理で既存塗膜を剥がし躯体素地が露出した場合やクラック補修等の下地調整でセメント系材料を使用した箇所は
ボンHBサーフェーサーR(W)を塗布する前に、必ずボンカチオンプライマーを塗装してください。
<ボンカチオンプライマー>塗布量/0.15~0.19kg/m² 塗布間隔/2時間

注3) 上塗 艶の種類

	艶有り	7分艶	5分艶	3分艶	艶消し
ボンフロン水性GT-SR	○	×	○	×	○

※ 艶有り以外をローラー施工する場合は、光沢ムラが生じる為、避けてください。

※ 艶有り以外をエアレス施工する場合は、一度の所要量を超えると、指定した艶に仕上がらない可能性がありますので
所要量を遵守して下さい。

※ 特記 本仕様書と共に下記留意点を必ずご確認ください。
塗装工事における留意点<<水性塗料>>